

■通常事業評価シート【R5年度実施事業／市民環境部桜台市民センターによる自己評価】

(単位：千円)

No.	事業名	総合計画での位置付け (個別目標)	事業の目的 (誰をどのようにするか)	事業の手段 (今年度の主な活動結果)	事業の目的達成に 近づいたか	今後の 方向性	事業費 (決算見込額)	人件費 (参考値)	コスト 合計	事業の課題	今後の改善ポイント	備考
1	学級講座等運営事業	生涯にわたる能力づくりが進められ、活かされている	市民相互の結びつきと自主的な学習活動を支援するため、学級講座等を運営する。	開催回数 高齢者大学 10回 女性学級 10回 家庭教育学級2学級 19回 キッズルーム 24回 開催講座数 定期講座 7講座 短期講座 12講座 登録活動団体数 48団体 公民館まつり 令和5年11月25日、26日開催	4：大いに近づいた	継続	1,022	6,930	7,952	余暇の多様化や共働き世帯の増加等、時代の変化に対応した事業実施	市民ニーズに沿った事業実施 講座申込のオンライン化	
2	桜台市民センター管理事業	みんなが主役の協働・連携したまちづくりが行われている	桜台市民センターの施設機能を保持するため、施設を適切に管理する。	業務委託等を活用し適切に維持管理し、年間358日開館した。	5：達成した	継続	15,043	7,142	22,185	施設を安全に保つ	施設の保全管理の充実	
3	公共公益施設整備基金積立事業	みんなが主役の協働・連携したまちづくりが行われている	市民センター施設の整備資金に充てるため、公共公益施設整備基金を適正に管理する	自販機設置に伴う貸付収入を基金に積み立てた。	5：達成した	継続	126	73	199	安定した収入の確保	適正な管理の継続	
4	桜台市民センター管理事務事業	持続可能で信頼される行政になっている	課内・部内の円滑な運営を遂行するため、庶務全般を効率的に行う。	桜台市民センターに関する庶務事務を行った。	5：達成した	継続	-	7,715	7,715	正確で効率的な事務執行	デジタル技術やデータを活用した事務の効率化	
5	サービスセンター事業	持続可能で信頼される行政になっている	市民の利便性の向上を図るため、市民の需要度の高い窓口業務を市民センターで実施する。	各種証明書の発行や届出業務の受付を行った。	4：大いに近づいた	継続	-	11,806	11,806	利便性の向上と、正確で迅速な事務執行	職員研修の充実 行政手続きのオンライン化	